

令和 2年 3月26日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

道の駅あらお(仮称)基本構想等策定委員会

委員長 波積 真理



道の駅あらお(仮称)基本構想(案)について(答申)

平成30年11月28日付け荒農水第800号をもって本委員会に諮問のあった標記の件について、慎重審議の結果、「道の駅あらお(仮称)基本構想(案)」として成案を得ましたので、ここに答申します。

今回答申する「道の駅あらお(仮称)基本構想(案)」は、有明海沿岸道路インターチェンジの延伸や南新地土地区画整理事業の事業計画決定を契機とし、荒尾市における様々な課題解決や荒尾市民・来訪者ニーズに対応した道の駅あらお(仮称)のあるべき姿の指針であり、コンセプトを【しあわせと元気の創造ステーション～有明の海と小岱の山で紡ぐ「食ものがたり」～】と定め、『地域経済の活性化』、『にぎわいとくつろぎの場の創出』、『防災拠点の形成』の整備方針を基軸として、地方創生を加速させるための構想を取りまとめました。

「道の駅あらお(仮称)」の整備推進に当たっては、市民や来訪者、また、生産者や事業者など、あらゆる方々がしあわせを感じ、元気になれる施設整備の実現に努められるよう希望します。